

神話伝説の山里

# 「高千穂郷」通信

平成21年1月号

(宮崎県西臼杵支庁)

NO.73

## 高千穂町消防出初式



高千穂市街地を分列行進する消防団員

高千穂町で新春恒例の消防出初式が1月11日に高千穂町総合公園で行われました。時折、雪が舞う厳しい寒さの中、高千穂町消防団（寺内章団長、10分団33部）は高千穂市街地を分列行進し、式典会場に向かいました。式では、観閲、通常点検、消防車両の発水試験の後、表彰式が行われ、消防功労者に対する表彰状や内助の功感謝状が贈られました。郷土の守り手である消防団員の凛とした姿勢ときびきびとした動きが印象的でした。



# 県森連新春初市開催される

1月6日

宮崎県森林組合連合会の高千穂林産物流通センターと同センター五ヶ瀬出張所において、新春初市が開催されました。

初市には県内外から約70人が参加し、全国一の生産量を誇るスギ丸太が威勢良く競り落とされました。今回のスギ平均単価は9,460円/m<sup>3</sup>、販売量は3,800m<sup>3</sup>と前年並みのスタートとなりました。



新春初市の様子（高千穂町大字三田井）



開市を三本締めで景気づける参加者の皆さん



競り人を務める西臼杵支庁長

## 完熟きんかん出荷開始！

冬場の換金作物として平成3年に導入された完熟きんかんは、平成13年には宮崎ブランドの認証を受け、今では完熟マンゴーと並ぶ宮崎の果樹の代表品目となっています。

西臼杵地域では、現在、高千穂町と日之影町の23戸の生産者により4haの面積で栽培されており、「西臼杵の完熟きんかん」は、標高が比較的高い山間地での寒暖差を活かして、糖度が高く、果皮色の良い高品質な完熟きんかんとして市場でも高い評価を受けています。

なお、「完熟」の基準は、開花から210日以上経って充分成熟し、一定の品質基準を満たす物となっています。

今年は1月26日に販売解禁となり、西臼杵地域でも2月中旬～下旬には出荷のピークを迎え、3月下旬まで出荷が続く予定です。



ひとつひとつ丁寧に収穫されていました。  
(JA高千穂地区きんかん部会の一水秀樹副会長)



## 日之影町果樹栽培受託組合が宮日農業技術賞を受賞

1月23日

平成20年度の宮崎日日新聞農業技術賞において、日之影町果樹栽培受託組合（10名）が集団組織の部で受賞し、宮崎市で贈呈式が開催されました。

今回の受賞は、日之影町果樹栽培受託組合が昭和61年に剪定班を組織し、高齢者によって管理される園を中心に剪定作業を受託することで高品質・安定収量生産を図り、品質日本一の「高千穂ひのかげくり」の銘柄を確立した実績が評価されたものです。

受賞した組合員からは「今後のくり生産振興に大きな弾みがつきました。」との声が聞かれました。



日之影町果樹栽培受託組合代表の3名



贈呈式の様子

## 中山間地域等直接支払制度集落協定代表者研修会

1月23日

高千穂町自然休養村管理センターで集落協定代表者を対象とした研修会が行われました。

中山間地域等直接支払制度は、中山間地域で農業を続けていくことにより農地を保全し、洪水の防止や美しい景観の提供などの多面的機能を守っていくことを目的に、平成12年度から実施されています。（西臼杵地域では165の集落で取り組まれています。）

研修会では、西諸県郡高原町蒲牟田にある「農事組合法人はなどう」代表理事の黒木親幸氏と延岡市北浦町総合支所地域振興課長の日高広道氏による講演、高千穂町上川登集落の興梠哲男さんと日之影町鹿川集落の三浦博文さんから各集落の取り組みの発表がありました。

◎「農事組合法人はなどうの設立について」黒木親幸氏

はなどう集落では、稲だけでなく麦も栽培して地産地消に取り組んでいるほか、みそを製造販売していることなどを報告。「法人化すればチャンスが広がる。集落が一丸となって始めてほしい」と呼びかけました。

◎「延岡市北浦町における野猿駆除対策について」日高広道氏

地元猟友会の協力で積極的に駆除を行って成果を上げていることや防護ネット設置が被害対策に有効であることなどを話されました。



集落協定代表者約250名が参加



事例発表をする鹿川集落 三浦博文さん

## 宮崎県SAP冬期大会で、 西臼杵地区代表が最優秀賞を受賞

1月28日

宮崎市で開催された宮崎県SAP冬期大会に西臼杵地区代表2名が参加し、日頃から実践している活動の成果を発表しました。特に、県下18課題の発表があったプロジェクト発表の部では「新品目花き導入～トルコギキョウの導入～」を発表した長田慎司さん（五ヶ瀬町）が最優秀賞を受賞し、県代表として7月に行われる九州大会に出場することになりました。



プロジェクト発表の様子

プロジェクト発表の部では「新品目花き導入～トルコギキョウの導入～」を発表した長田慎司さん（五ヶ瀬町）が最優秀賞を受賞し、県代表として7月に行われる九州大会に出場することになりました。

## 第6回黑板村感謝祭

1月31日

五ヶ瀬町の黑板地区で、古戸野神社黑板村夜神楽祭の反省会も兼ねて、第6回黑板村感謝祭が行われました。感謝祭では、年男・年女の紹介や、村民による歌や踊りの出し物が披露されました。また、毎年70歳以上の村民を名人として認定しており、今年は山菜採り名人やハッピースマイル名人が認定されました。食事も演芸も手作りの感謝祭で、集落の人々がますます一体感を深めていました。



山菜採り名人への認定書授与



フラダンスも披露されました

## 平成21年作葉たばこの種まき

1月30日

高千穂葉たばこ生産組合の種まきが、組合の代表者、緒嶋県議や高千穂副町長、日之影副町長を始めとする関係者も参加し盛大に行われました。



葉たばこ共同育苗施設（高千穂町朝ヶ部）での播種の様子

本年の西臼杵郡内の作付予定面積は98ha、販売目標を4億9千万円としており、小雨の降る中、45名の参加者が7月の豊作を祈願して播種を行いました。

## 平成21年新年交通安全祈願祭

1月7日

高千穂地区交通安全協会、高千穂地区安全運転管理者等協議会が主催する新年交通安全祈願祭が高千穂神社で行われました。



祈願祭の様子

本県では、平成20年の交通死亡事故は前年に比べ減少率が全国1位でしたが、西臼杵郡内では1人増の結果でした。

この祈願祭では、両協会の会員や三町の代表ら約60名が玉ぐしを捧げ、平成21年の更なる交通安全を祈願しました。

### 西臼杵支庁だより

## 消防訓練・救命救急講習を実施

1月14日

西臼杵支庁では、万一の事態に備えるため、高千穂町総務課の協力を得て、消防訓練及び救命救急訓練を実施しました。

庁舎2階の湯沸室から出火したという想定で訓練を行い、参加した職員は初期消火、避難誘導、負傷者の救護など、それぞれの役割を改めて確認しました。救命救急訓練では、心肺蘇生法とAED（自動体外式除細動器）の適切な使用方法について学びました。



消火訓練を実習する西臼杵支庁職員

### 編集後記

先日、県内のある町でマラソン大会が開催されたのですが、参加賞としていただいた「その町の特産品」がとても美味しくて、すごく印象に残りました。全国の様々なマラソン大会の参加賞等を調べてみると、なかなかユニークなものがあるみたいです。かに寿司、巨峰1箱、鮭“丸ごと一本”、米3kg、飲める温泉水2リットル、下駄・・・参加賞など景品目当てに全国から参加するランナーもたくさんいるとか。その町のアピールになるわけですから、景品の選択は結構大事なんですね。皆さんでしたら、地元の何をマラソン大会の景品にされますか？小野



\*西臼杵支庁の業務等について、ご意見、ご要望などありましたら下記までご連絡ください。

### ◎お問い合わせ先

宮崎県 西臼杵支庁 総務課  
TEL 0982(72)2181 FAX 0982(72)3760  
URL [http://www.pref.miyazaki.lg.jp/contents/org/chiiki/shityoson/nishiyusuki\\_shityo/index.html](http://www.pref.miyazaki.lg.jp/contents/org/chiiki/shityoson/nishiyusuki_shityo/index.html)